

愛知世界選手権の併設イベント「愛知万博」。そんな愛知万博をコンパクトにご案内します。



夏だ！ビールだ！万博だ！
誌上万博コンパクト・高橋美和がご案内。まるで工学とは無縁の口ぶりだが、仕事では日々エンジニアを演じている。

8月10日は万博の日

2005年8月10日は世界選手権のプリント予選/決勝が愛知県豊田市で開催されます。決勝が終わった後になりますがこの日の夕方から愛知万博会場で開会式が開催されます。スプリント会場の駐車場から万博会場駐車場までは車でスグ。世界選手権と万博がいっぺんに楽しめる一日になりそうです。

抜け駆けでいち早く万博に行った高橋美和から会場の様子を聞いてみました。

日本パビリオンは予約すべし

まずは、人気のある企業パビリオンや日本ゾーン。ここは、絶対にインターネットで**事前予約**していくことをオススメします。指定の時間に行けば、ほとんどのパビリオンが行列に並ぶことなく別の入り口からすぐ入場できました。

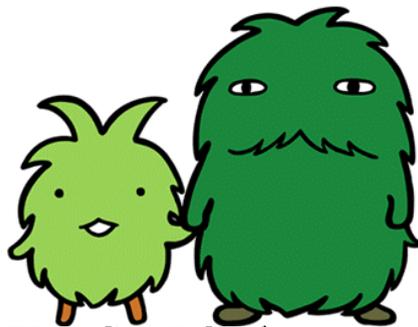


美和イチオシの日立館（愛知万博サイトより）

どこも最新の技術を駆使しまくり！、という感じで、工学部系の人には特に感慨深いと思います。私が一番面白かったのは**日立館**でした。体験型のとあるシーンで、おもわず「ぎゃあ〜」と叫んでしまいました。是非体験してみてください。

一番人気のトヨタ館では、実は途中**寝て**しまいました。ガラス張りの部屋でリモコン操作しているたくさんの技術者には盛大な拍手を送りたくありません。ちなみに同じ日に見た別のグループは開演早々お姉さんの乗った車が通路にぶつかり、公演中止になったそうです。

あと、マンモス館の、マンモスの前を見る「スーパーハイビジョン」は綺麗な映像に思わずため息が出てしまいました。マンモスは・・・すごさがよくわかりませんでした。



マスコット「キッコロ」「モリゾウ」
（愛知万博のサイトより引用）

食って寝て忙しい

そして各国のパビリオン。お国柄が出ていて面白いです。ただの土産物屋になっているところも結構あります。ある国では「ご自由に寝てください」と布団の敷いてある小部屋があり、本当に人が寝てました。

そんな中で好評だったのが「北欧共同館」でした。かなり空いているのに、デザインが良くてひとつひとつじっくり見て楽しめます。オリエンテーリングの地図などはなかったと思いますが、クロカンの道具はたくさんありました。お楽しみはいろいろな食べ物でしょう。のびーるアイスを食べたり怪しげな飲み物を飲んだり、結構忙しいです。

オリエンテーリングといえば森林体感ゾーン。森を歩く事ができるのです

が、かなり整備された一本道の歩道を歩くだけで、残念ながら**相当**物足りない感じがします。会場マップには山越えの道なども書いてあるのですが、それは旧道？で通行禁止です。



会場へのアクセスは、リニアモーターを使った交通機関「リニモ」（リニモのサイトより引用）

移動手段として気になるリニアモーターカーは、スピードを出さないため、モノレールという感じでした。（JR館で見た3D映像はすごかったです。）あまり使えない情報として、団体バスで行った場合、西ゲートへ歩いて行くよりも公園西駅から1駅だけリニモに乗ったほうが実は便利だったりします。全く期待していなかった愛知万博ですが、なかなか楽しかったです。

（高橋美和）

万博だけじゃないぞ

三河地方での観光で外せないのが豊川稲荷でしょう。日本三大稲荷のひとつとされ、一度は訪れておきたいところです。豊橋や新城方面に世界選手権の宿を確保した人にとってアクセスが良いのも魅力。

もうひとつは岡崎城。徳川家康が生まれた場所です。城自体は再建されたものですが、あの「SHOGUN 家康」の生まれた場所ということで、外国人を案内するにはいいかも知れません。

そして城と言えば名古屋城。金のシャチホコが間近で見られる「新世紀・名古屋城博」は6月19日で終わってしまいましたが、金シャチは愛知のシンボルであることは疑いようがありません。